



So-netのIPv4枯渇に関する認識と対応スタンス

2009年10月7日

ソネットエンタテインメント株式会社

菊池 正郎

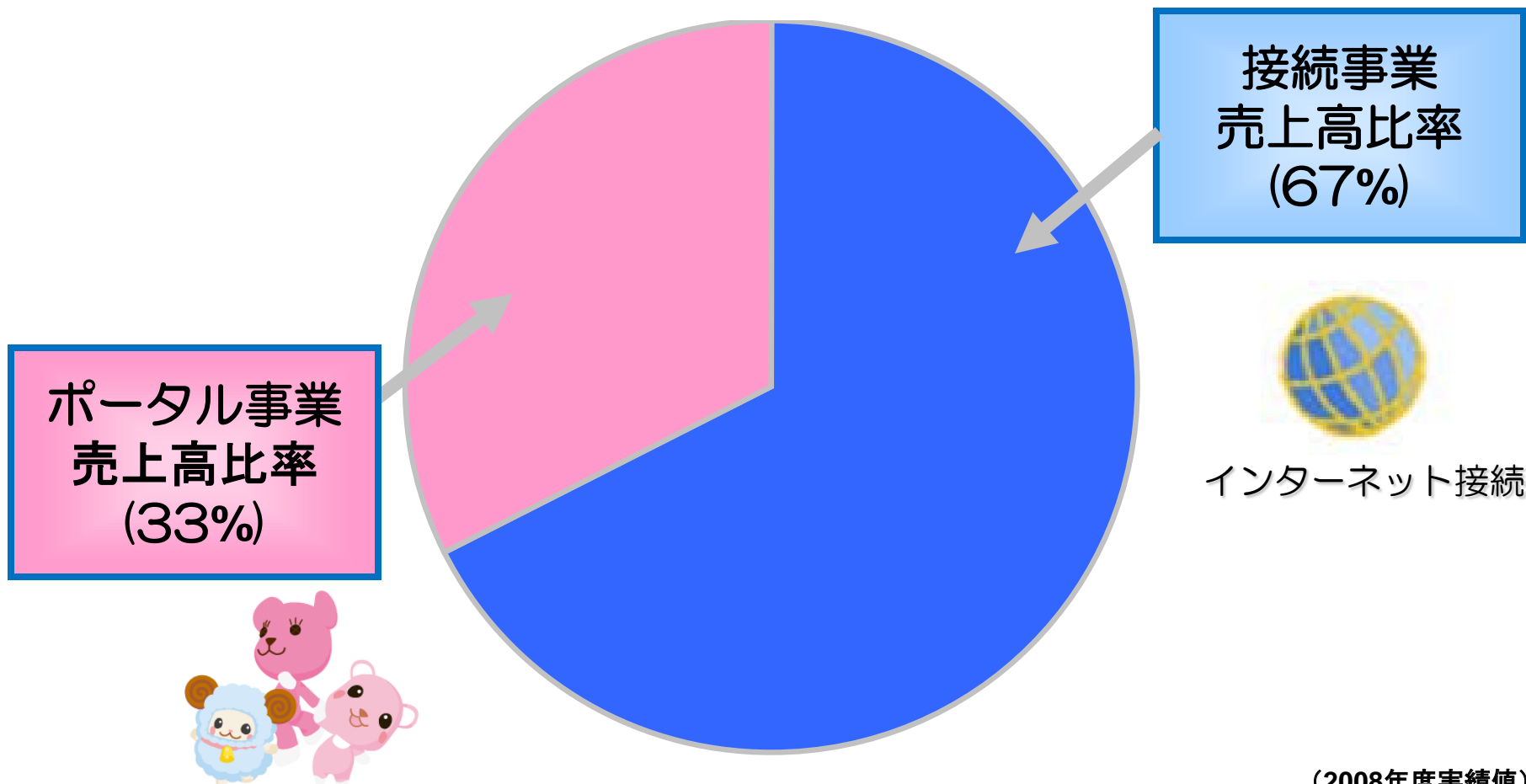
1. 会社および事業概要
2. IPv4枯渇に関するSo-netの現状と今後の課題
 - 2.-1 So-netのネットワーク構成の現状と見通し
 - 2.-2 So-netのIPv6対応における課題点
 - 2.-3 So-netのIPv6対応ロードマップ
3. IPv4枯渇に関する広報とは
4. So-netとして顧客対応をどのように考えるか
5. So-netとしてIPv6サービス提供にあたり知っておきたい情報

■社名	ソネットエンタテインメント株式会社
■上場証券取引所	東証1部（証券コード:3789）
■設立	1995年11月
■サービス開始	1996年 1月
■株主	ソニーグループ 58.2% その他株主 41.8%
■資本金	79億65百万円
■従業員数	412名(単独) 997名(連結)

(2009年3月末現在)

■ 接続事業とポータル事業に区分

■ 事業のうち、個人向けサービスが中心



接続事業
売上高比率
(67%)



インターネット接続

ポータル事業
売上高比率
(33%)

(2008年度実績値)

■ IPv4枯渇に関するSo-netの現状と今後の課題

So-netのネットワーク構成の現状と見通し

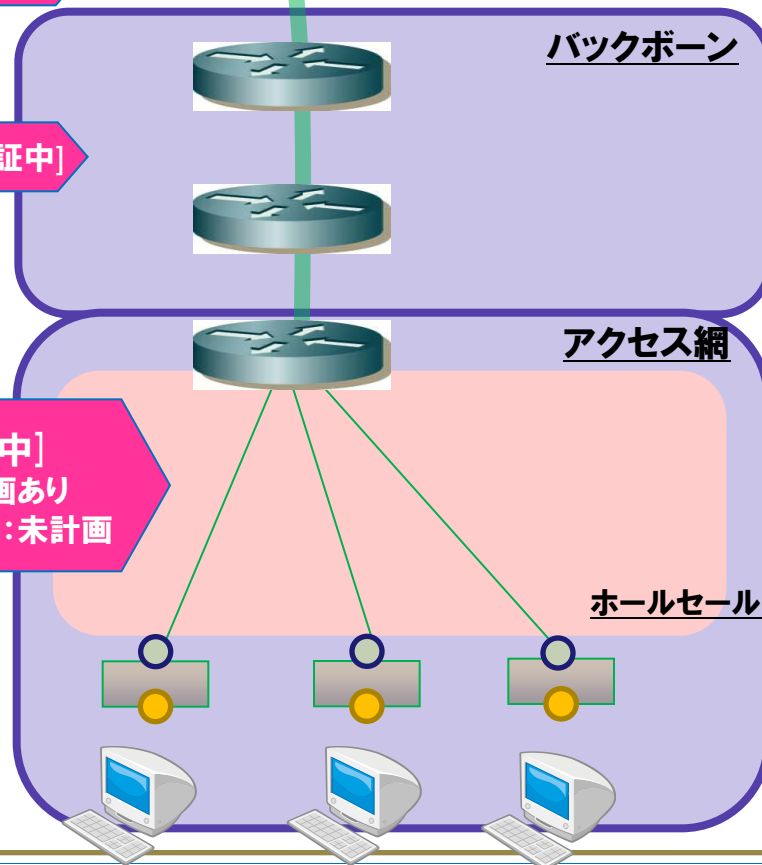
- グローバルIPアドレス (IPv4)
- プライベートIPアドレス (IPv4)



IPv6ピア化 [完了]

デュアルスタック化[検証中]

IPv6 / LSN [検討中]
NTT東西ネクスト: 計画あり
NTT東西ネクスト以外: 未計画



自社サービス
(ウェブ、DNS、メール等)



デュアルスタック化
ロードバランサ対応
トランスレータ対応

[検討中]

アグリサービス
(ウェブ、その他)



デュアルスタック化
ロードバランサ対応
トランスレータ対応

[未調整]

■ 自社サービス

- 個別コンテンツ、サービス毎に調査/検証/対応が必要

■ アグリサービス

- 各提供者との調整が必要

■ アクセス網(ホールセール)

- フレッツ光ネクスト以外のサービスで個別に確認/調整が必要
- LSN製品の選定

■ 顧客対応

- お客様窓口の準備

■ サービス

- お客様が混乱しないサービスとご案内内容の検討

So-netのIPv6対応ロードマップ



NTT東西
NGN IPv6
提供開始

From \ To	顧客	ISP	加入者線事業者	バックボーン系事業者	サービス提供者(除接続)	機器ベンダー
ISP	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供時期 IPv6対応のスケジュール及び影響あるサービスへの対応策 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供方針 IPv6対応のスケジュール及び対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供方針 IPv6対応のスケジュール及び対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供方針 IPv6対応のスケジュール及び対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供方針 IPv6対応のスケジュール及び対応方法 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6提供方針 IPv6対応のスケジュール及び対応方法
加入者線事業者	<ul style="list-style-type: none"> IPv6対応スケジュール及び提供方法 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6対応スケジュール及び提供方法 	<p>必要に応じて各事業者が広報 もしくは、 各事業者から各事業者へ個別に 問い合わせ</p>			
バックボーン事業者	—	<ul style="list-style-type: none"> IPv6対応スケジュール及び提供方法 				
サービス提供者(除接続)	<ul style="list-style-type: none"> サービス影響の有無及び対応策 	<ul style="list-style-type: none"> サービス影響の有無及び対応策 				
ISP向け機器ベンダー	—	<ul style="list-style-type: none"> IPv6仕様・性能 提供開始時期 価格 				
宅内向け機器ベンダー	<ul style="list-style-type: none"> IPv6仕様・性能 提供開始時期 価格 	<ul style="list-style-type: none"> IPv6仕様・性能 提供開始時期 価格 				

いろいろな立場の人がいろいろな立場の人に向けて情報を出さなくてはならないので情報を集約して広報する必要があるのでは？

■お客様に伝えることとして

- ✓ IPv6では何が出来て、何が出来ないのか？
- ✓ IPv4とIPv6では、何が変わるのか？
- ✓ IPv6に移行すると何が良くて、何が良くないのか？
- ✓ IPv6に移行するとサービスの提供価格はどうなるのか？etc.

■お客様がIPv6サービスの提供を受けるか否かの判断ポイントとしては？

◆お客様がIPv6接続サービスを使うメリットを感じた

◆サービスの質と対価のバランスに納得した

} AND条件

お客様は、これまでの提供されてきたサービスで、IPv4であることを意識して使っておらず、また、これまで特に説明をしたことはない。



So-netが、IPv6サービス提供にあたり、なるべく現状サービスと同等のことができるように考える。



問題が発生した場合、個別の機器、コンテンツ、サービス毎に顧客に説明する必要があると思うが、これを顧客にご案内することはむずかしいのではないか。



カスタマーサポートによる対応

■ 加入者線提供事業者・他回線事業者等から

- エンドユーザへの提供方法
- ISPとの接続方法
- 開始時期とコスト

■ サービス提供事業者・コンテンツ提供事業者等から

- 対応方針
- 対応方法
- 対応時期

■ ISP向け機器メーカー等から

- IPv6仕様・性能
- 対応機器の提供開始時期
- 機器価格
- 他メーカーとの相互接続性

■ 宅内向け機器メーカー等から

- IPv6仕様・性能
- 対応機器の提供開始時期
- 機器価格
- 既存機器へのIPv6適用可否

